



この4年間を振り返って感じる奥州市の課題

新奥会は、奥州市の明るい未来のために、バランスの取れた地域のあり方を念頭に活動してまいりました。奥州市には多くの資源があり、伝統、文化、産業、観光等でも他地域と比較しても恵まれていると感じますが、上手に活かされていないように見えます。また各地域における事業や施設のあり方にも課題があるように見えます。

市は市民と行政による「協働のまちづくり」を提唱しています。「協働（きょうどう）」の一般的な意味は、「協力してともに働くこと」です。一つの目的を達成するために、目標に向かって複数の人々が力を合わせて協力しながら働くことを意味します。本来は市民と行政がともに協力し合い地域の課題解決に向け協議し、ともに活動を行うものです。しかし、現在の状況を見ると、市の計画や予算配分に翻弄されている地域が多いように思えます。本来なら行政と市民は意見を出し合い合意点を見つけ協力していくのが本来の姿と感じます。

これまでの行政の事業推進は市が立案して市民説明会等で意見を聴き、議会で採決をしてきましたが、最近では説明会で多くの反対意見が出されるケースが散見されます。

この改善点では「物言わぬ多数派」と呼ばれる、サイレントマジョリティーの方々の意見をいかに表に出していくかも大きな課題とも言えます。より多くの方々の意見を反映するには立案する前に可能な限り多くの世代、職種の方等の参加の下（市民参画）、早期で合意形成を得てから具体化した方が時間を掛けたとしても多くの理解を得られると感じます。これまでの市政運営で不足していた点と思います。

また大きな影響として表面化してきているのが市職員の業務量の多さもあります。本来なら市民の声を聴く市職員も多大な業務量により市民の声を聴く機会が減ってきています。行政の事務処理については広域でのシステム共有やデジタル化等による効率化が進めば、市民にとっても話しやすい行政になるのではないのでしょうか。

令和3年度

新奥会行政視察報告



国内に数台しかない外国製マシンと

●森林資源を有効活用するには

8月25日に奥州地方森林組合さんの作業現場を視察し、作業内容や奥州地方森林組合の状況などをお伺いしてきました。現場は江刺伊手にある奥州市が管理する土地であり、昨年度から伐採が始まって来年の夏までかかるとのことでした。

近年は岩手県の研修センターで学んできた若い作業員が増えてきているとのことですが、奥州市内には広大な森林資源があり、その活用のためにはやはり優秀な人材が必要です。

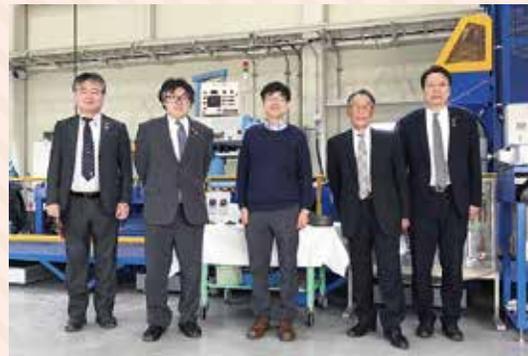
また、伐採が終わった後の管理も重要となりますので、そのためにも森林環境譲与税をどれだけ有効に使えるのか、現場の方々と意見交換をしながら考えていかなければなりません。



盛岡市議会議場にて

●地域限定キャッシュレス決済システム

11月17日、盛岡市役所において、盛岡市独自のキャッシュレス決済システム、「MORIOペイ」について視察して参りました。「地域の中でお金をいかに循環させるか」という視点のもと、地域経済の振興策として導入されたものです。令和3年6月にスタートしたばかりですが、利用者や登録店舗は今のところ順調に増えているということでした。高ポイント還元キャンペーンや、リフォーム工事には6万ポイントの付与などといったサービスも実施されたとのこと。地域内での資金循環やなんらかの給付の際にはよりスピーディーに実施できるものもあることから、今後も引き続き地域限定キャッシュレス決済システムについては研究して参ります。



岩手大学理工学部平塚教授と。ものづくり研究棟にて

●産官学連携の実態を視察

同じく11月17日には、岩手大学内にあります地域連携推進センターと、ものづくり研究棟も視察して参りました。センターには奥州市からも共同研究員として1名派遣されており、市内の企業と岩手大学との連携のサポートにあたっております。センターの活動として、県内の他市町村とどのような連携事業が進んでいるのか解説を受け、実際に奥州市内の企業が研究に活用した設備なども拝見させていただきました。現在は地元企業との連携という分野だけでの派遣となっておりますが、岩手大学の研究分野は幅広く、農業や地域課題の解決といった分野での活用も期待できることから、さらなる連携体制の構築について促していく必要性を感じました。

新奥会議員活動報告

①星座 ②好きな花 ③好きな動物 ④苦手な食べ物



会長
小野 優 (44歳)

水沢秋葉町76番地
TEL 090-9674-5613

教育厚生常任委員
議会運営委員
市政調査会監事
議会広報委員
新市立病院建設調査特別委員会幹事

公共交通政策に関して、区内交通の取り組みをとにかく市民全体に広く情報公開することや、一般路線バスをスクールバスの代わりに通学利用することを提案しました。まずは新しいスクールバスを購入して運用されることになりましたが、将来ドライバーの安定確保が難しくなる恐れや、一般路線バス維持のためにも、今後も必要な議論だと思っています。

1シーズンの営業が延長されたスキー場について、はっきりと廃止すべきとの立場を示した上で、今後の在り方について質しました。この記事を執筆時点で今シーズンは順調に営業を開始できそうな状況ですが、そもそも雪不足による営業日数の大幅な減少やスキー人口の低下が心配される中、それをどこまで財政負担できるのか。そのお金をもっと他のことに使えるのでは、ということはいくらも真剣に考えていかなければなりません。

今年度は第2次奥州市男女共同参画計画の中間見直しの年にあたり、その中で性的少数者(LGBTQ+)やダブルケアがどのように取り上げられるのかについても質しました。見直しにあたってのアンケートで、この2つのテーマに関しては初めて項目が設置され、その評価と今後の活用について関連する部署との今以上の情報共有を求めました。

①牡牛座 ②ひまわり ③犬 ④虫



副会長
高橋 晋 (59歳)

江刺豊田町二丁目2番6号
TEL 0197-35-8430

総務常任委員
議会運営委員
議会広報 副委員長
国際リニアコライダー誘致推進議員連盟監事
奥州金ケ崎行政事務組合議会議員

6月議会一般質問では、「交通と物流の統合による業務の効率化を」を市長に質問。貨物運送と旅客運送のかけもちの「貨客混載」で、運転手不足や経費を削減すべきではと提言しました。さらには、「江刺金札米百周年・奥州市全域で学校給食を」を市長、教育長に質し、社会科副読本において、尽力した「小澤懐徳」を中心に児童に学ばせたい。学校給食においても実現するよう努力すると答弁。

12月議会一般質問では、「公共施設予約システムの導入」を市長に質問。DX(デジタル技術による変革)推進の中で行政手続きのオンライン化と併せ、予約システムも検討する。「環境的に優しい屋内温水プールの建設を」では、老朽化が激しいプールを廃止し、環境に良いご

み焼却時の余熱を活用したプールの新設を訴えました。なお、屋内温水プールに関しては、奥州金ケ崎行政事務組合議会でも質問しました。また、一昨年10月1日からJR東日本東北新幹線水沢江刺駅の発車メロディーが、奥州市出身・大瀧詠一さんの「君は天然色」になりました。これにより、地元の羽田振興会、出身地の梁川振興会では、顕彰活動の機運が高まり、イベント開催や文化祭での展示など、お手伝いさせていただきました。さらには、江刺愛宕の「子ども食堂」の立ち上げにも尽力しました。

①天秤座 ②秋桜 ③猫 ④カキフライ



幹事
及川 春樹 (52歳)

水沢羽田町字明正114番地1
TEL 0197-25-2657

産業経済常任委員
議会改革検討委員
議会広報委員
国際リニアコライダー誘致推進議員連盟監事
新市立病院建設調査特別委員会幹事

現在、市では「ぼちっと奥州」という、市民生活総合支援アプリによる行政情報を簡単に入手ができる環境を整備しました。重要なお知らせなどをプッシュ通知により受信できるほか、防災やごみ、くらしの情報など、身近な情報に簡単にアクセスすることができます。また道路などの破損等について写真と位置情報を送れるようになりました。まだ広く知れ渡っていないのが現状です。このような事案は、これまでは区長や振興会に連絡し市に報告していましたが、「ぼちっと奥州」アプリははこちら！アプリではいち早く正確な情報を知らせることが出来ます。ぜひ活用してみてください。



iOS(iPhone用) Android用

次の時代を担う子どもたちが夢を持ち、豊かな人生を送れるよう「生まれ変わっても、

またこの町で生まれたい」と思ってもらえるように努力して参りたいと思います。

一般質問は、2月定例会「新小谷木橋完成後の通学路について」「疾病としてのゲーム障害について」12月定例会「交通安全対策について」「教育・保育施設の統廃合による子育て環境への影響と対応について」質しました。

産業経済常任委員の一員として、9月議会において「地域おこし協力隊制度を活用した産業振興に関する政策提言書」を提出しました。

①双子座 ②オオデマリ[大手毬] ③犬、猫 ④特になし



相談役
加藤 清 (74歳)

胆沢若柳字清水川393番地
TEL 0197-46-2858

建設環境常任委員会 副委員長
議会改革検討委員
市政調査会幹事
監査委員

合併して16年を間もなく経過する本市において、行財政改革は喫緊の課題です。少子高齢化の中急速な人口減少となっており、令和15年頃には10万人を切る見通しです。人口規模に見合った行政のダウンサイジングは必要不可欠で、選択と集中による行政経営は避けて通ることはできません。将来の市のビジョンを的確に捉えつつ、場合によっては現状を打破することも必要で、課題を先送りすることなく市政が望ましい状況で続けられ、次世代に生きる市民が、真に住んで良かったと思えるまちになることを願うものです。

一般質問では、以下2件について市長に質しました。①未利用財産の適正な活用により、財政健全化及び新たなまちづくりが具現化すると考えます。南都田地区センター、江刺勤労青少年ホーム、東水沢中学校、及び笹森住宅団地造成事業用地の跡地利用促進。更に事業実施にあたっては、所管部だけでなく新たな組織を設置し、横断的体制により取り組むべき ②コロナ禍による米の需要低迷に伴い米価が下落し、農家や地域経済が疲弊している。早急な支援を講ずるべき。先に策定されている農業振興ビジョンの見直しが必要と質しました。

①双子座 ②シクラメン ③犬 ④特になし

編集を終えて

我々の任期も残り僅かとなりました。兎にも角にも行財政改革をしないことには何も始まりませんし、何もできません。改革を進めながらも夢のある奥州市の実現に向けて頑張るしかないと思う今日この頃です。新人を中心として創った会派でしたが、何とか助け合いながら4年間が経過しました。市民の皆様の総意を我々なりに汲み取り提言してまいりました。引き続きよろしく願いいたします。

バックナンバーをホームページ上に掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。



会報Vol. 1
「私たちの地域医療の今日と明日」



会報Vol. 2
「奥州市の財政の今後」



会報Vol. 3
「雪害被害報告」